



上毛電鉄の会だより

「上毛電鉄友の会」の会報

第14号



赤城山麓を走る電車

(空っ風通信)

Joden Supporters Club

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。

84年目を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。

上電は、いよいよ設立90周年を迎えました。上電友の会も100周年に向け、コツコツと電ととともに走り続けます。

挨拶 会報第14号発刊にあたって

今年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大のニュースが深刻な日々が続いている。内閣総理大臣が、行事・イベントの中止や延期を促し、全国の小中高校を臨時休校とすることも要請した。マスクに続いて、トイレトペーパー等が店頭から姿を消す等、日本列島は非常事態になっている。第一次オイルショック(1973年)、リーマンショック(2008年)、東日本大震災(2011年)の前後にも深刻さは感じていたが、今回の場合、国民が皆仕事に関わる以外の外出を控え、日用品も輸入に頼っている貿易に制約を受けて、多くの人や物の動きが休止している。色々な情報や事態に熱し易いのが日本人、特に群馬県民の特徴だが、今後今までにない厳しい状況も懸念される。

この非常事態がいつまで続くかは、誰も読めないし、多くの国民は今、急変する情勢の中で、仕事や身の回りの生活に手一杯でもあろう。一刻も早い収束を願うとともに、上毛電鉄はじめ国内の鉄道各線が平常通りの運転を維持していることと、会報第14号が発刊されることに感謝し、併せて当会員の皆様のご健勝を祈って、本誌の挨拶とさせていただきます。(上毛電鉄友の会代表 大島登志彦)

歩 春のハイキング 渡辺華山の足

2019年5月11日(土)春のハイキングとして「渡辺華山の足跡を辿る」を開催しました。渡辺華山は、幕末の三河田原藩家老職にあった勤皇家で、蚕社の獄などでも有名です。妹の茂登(もと)が、桐生の岩本家に嫁いでいた縁で桐生の地を訪れ、数々の絵画を残しています。当日は桐生の華山研究家岡田幸夫氏のガイドで、西桐生駅を振り出しに、岩本家跡、光明寺、雷電山、小倉峠など、華山が大間々町を尋ねた際に辿ったゆかりの地を巡る10kmを富士山下駅まで歩きました。爽やかな五月晴れに恵まれた当日、躑躅の花咲く新緑の中を快適なハイキングを楽しみま



した。雷電山の山頂には、岡田氏の尽力により作られた華山の顕彰碑がありました。顕彰碑には、華山作の桐生新町が描かれた水墨画を見ることができます。参加者は、華山の精緻な筆遣いによる寸違わぬ桐生の山々と、今と往時の街並みの姿を比べて、驚きの声を上げていました。(佐羽宏之)

会 令和元年度通常総会 承認

ハイキングの終了後、17時から、桐生市民活動推進センター「ゆい」にて、通常総会を開会。まず、大島代表から挨拶があり、平成30年度活動報告及び決算、令和元年度活動計画及び予算、役員3議案を役員が説明しました。すべての議案を出席者の皆さんに承認を頂くことができました。当日



出席した出席全員の自己紹介の後、上電古澤社長から祝辞を賜りまして、盛況の裡に閉会となりました。令和2年度は5月30日(土)を予定しています。(新保正夫)

飲 夏の風物詩! ビール電車

7月21日(日)、夏の恒例行事となったビール電車が開催されました。今回は初の試みとして、床に畳を敷き、お座敷列車スタイルでの運転です。



12時34分に大胡駅を出発。走行中に入ってくる風は程よく涼しく、デハ101の走行音も相まって冷たいビールやからあげがよりおいしく感じます。電車は中央前橋で折り返し、西桐生へ向かいます。途中からはSUPER BELL'Zの野月貴弘さん、堂込聖美さん、気象予報士の藤富郷さんなども乗車し、エアトレインを間近で披露していただきました。

西桐生ではSUPER BELL'Zのグッズ販売も実施。CDやこの日限定のキーホルダーなどが販売されました。

後半は桐生球場前手前から東武鉄道の「りょうもう号」と並走。一度追い抜かれるも赤城駅到着目前で追いつき、野月さんの実況で車内はさらに大盛り上がり。結果的にはわずかな差でりょうもう号に軍配が上がったものの、いい思い出になりました。

中央前橋で記念撮影ののち、大胡に16時18分到着し、お開き。遠くは広島県からの方も含め、約30名もの方にご参加いただきました。これからも夏の風物詩として、毎年開催できればいいな、と思います。



(文: 小俣聡 写真: 平岡隆一)

フ のりものしごとフォーラムを開

8月8日(木)、のりのり学会(代表世話人: 奈賀由香子)と共催で、古民家 IRORI 場にて開催された「のりものしごとフォーラム—交通のシゴトについてきいてみよう—」は、中学・高校生向けに交通関係の仕事がどのような仕事があるのかを、知ってもらうために企画しました。

水野羊平氏(永井運輸)・井上晃良氏(inoue design)・藤本理弘(長野大学・高崎商科大学講師)の3名を講師にお招きして、バスの運行管理・車両のデザイン・まちづくりと交通の面からお話をいただきました。

参加者29名のうち、ほとんどの来場者が地域交通に興味関心

をもつ社会人の方々でした。車社会といわれる群馬ですが、公共交通の重要性を考えている人たちもいることを改めて確認することができました。

群馬テレビでフォーラムの様子は放送され、県内の方々に活動を知ってもらえることができました。開催方法・運営資金などの課題はありますが、今後も公共交通を考える機会として、フォーラムを開催できたらと考えています。

(塩島翔)

秋 中小私鉄フェア & 秋のハイキ

令和初となる中小私鉄フェアは、上電が幹事社で、大胡車庫が会場。10月27日(日)9:30からの開始と同時に多くの方がご来場・・・。

一番の目玉は、「SUPER BELL'Z 中小私鉄フェア初登場」。13:30からベルズの野月貴弘さん(車掌DJ)、山本紗由美さん(さゆみん)のほか、ビール電車で参戦してくれた藤富郷さん(スッキリの気象予報士)が、舞台上がりました。

そのほか、上下分離型プラレール(友の会)、鉄道模型ジオラマ展示(前橋高校鉄道研究部・上毛電鉄)、ミニトレン運行(2015年からの生活交通をつくる会)、中前～前駅シャトルバス展示(日本中央バス)など、イベントが盛りだくさんとなりました。

アカデミックな内容では、文化庁文化資源活用課 文化財調査官 西岡聡さんによる3鉄道の「国の登録有形文化財」、「土木遺産」の登録経緯、活用について、ご講演を賜りました。



==11月2日 秋のハイキング報告==
「足尾馬車鉄道と足尾銅山に関わる産業遺産を辿る」

例年は貸切バスを利用して遠出をするのですが、今年は貸切バスは使用せず、上毛電鉄の沿線から比較的近い栃木県日光市の足尾地区を訪ねました。JR 桐生駅で集合し、わたらせ渓谷鐵道に乗り込み、「笠松片マンブ跡」などを車窓から眺めつつ原向駅で下車、足尾馬車鉄道の軌道跡を辿る、約8キロのハイキングがスタート。足尾トロッコ館では、保存車両に

乗ったりと貴重な経験ができました。

(コース)

原向駅～馬車鉄道橋台～原堆積場擁壁～渡良瀬川第二橋梁～磐裂神社～通洞動力所遺構～古河足尾歴史館(足尾トロッコ館)～通洞駅～トロ道～足尾キリスト教会～宝増寺～足尾駅～馬車軌道跡トロ道～下間藤踏切跡(廃線遠望)～間藤発電所跡～間藤駅
(新保正夫)



催 上毛電鉄 新春イベント2020に参加し



恒例の「上毛電鉄新春イベント」が、2020年1月3日(金)に大胡電車庫で開催されました。今年も盛り沢山の内容で、東武博物館の花上名誉館長と友の会役員とのトークでは、「群馬の廃線跡と観光」というテーマを中心に興味深い内容が語り合わ

れました。

続いて新春イベント恒例の「SUPER BELL'Z ライブ」で大いに盛り上がり、イベント初登場となる高橋涼子さんは音響機器の不調にも関わらず、美しい歌声を披露してくれました。厩橋 CHINDON 倶楽部演奏会も見事でした。

鉄道グッズ販売会では、初登場の長野電鉄も加わり、常に多くの方々が各ブースを訪れており、恒例となった日本中央バスの展示など、どれも大いに盛り上がった令和初の新春イベントでした。
(山本典臣)



音

NHK「音鉄・音旅出発進行」に上



2020年2月29日に放送された、NHKラジオ第1放送『鉄旅・音旅出発進行!～音で楽しむ鉄道旅～』へ出演させていただきました。

テーマは「上毛電鉄」。上電様の全面協力の下、ラジオならではの貴重な「音」を、たくさん録らせていただきました。中澤様、

五十嵐様始め、社員の皆様に厚く御礼申し上げます。放送の様子は、「読むらじる。」というサイトで引き続きお楽しみいただけます。ぜひご覧くださいませ。

(堂込聖美)

印

友の会スタンプラリー2019

スタンプラリーですが今回も北陸鉄道さんとアルピコ交通さんにお世話になっております。3社共同スタンプラリーは今回で3回目です。スタンプの数は各社2つに合わせてあります。

毎年、自分もスタンプを押しに行っていますが、上電スタンプは年末には押ししておりましたが、残りの2社は距離も遠いので簡単には巡れません。今回、アルピコ交通さんのスタンプは高速バスで新宿～松本へ行き、その足で2か所押印。続けて北陸鉄道さんのスタンプは松本から大糸線経由(20年ぶりの乗車?)で糸魚川まで出てそこから新幹線ワープを使い2か所押印しました。温泉、地元グルメを含めた3泊4日のスタンプ巡りも無事終了しました。

スタンプラリーは旅のきっかけの一つなので、みなさんも旅することでもいいものが見つけれれば幸いです。期間は3月31日までです!

なお今回でスタンプラリー企画は全面的に見直す方向で考えております。これまでたくさんの鉄道事業者さんにはお世話になりました。

この企画で少しでも乗車機会が増えていれうれしい限りです。

(平岡隆一)



編集後記

新型コロナウイルスに大雨災害。あらゆる脅威にさらされて心休まりません。しかし、こと気候変動に関して言えば、マイカーからの転換の受け皿として、上電の存在意義も大きいはずと信じたいところで、上電を応援する身としては、世間の関心が高まっているという点で、ある意味少し前向きにもなれます。

友の会は今年で10周年を迎えます。地域の足でありシンボルである上電を支えるという活動の趣旨にご賛同いた

発 刊 上 毛 電 鉄 友 の 会

2020.3

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/>

Facebook <https://ja-jp.facebook.com/jyodentomonokai>